

令和5年2月一般質問より

県政レポート

～人を活かし、人をつなぐ。そして東紀州の未来を拓く～

発行

三重県議会議員 **東 ゆ た か**

〒519-3204 北牟婁郡紀北町東長島 2338-3
TEL 0597-47-5228 FAX 0597-47-5239
ブログ <http://www.yutakah.com>
メール higashi-yutaka@ztv.ne.jp



南海トラフ地震に備えた 道路改良とルート確保について

About road improvement and route securing for Nankai Trough earthquake.

東豊の質問

東日本大震災では、被害の多い沿岸部に、東京方面から人命救助隊や医療チームをいち早く投入するため、車両が通行できるルートを確保していく、いわゆるくしの歯作戦が有効でありました。

南海トラフ地震に備えるために、大規模防災拠点につながるくしの歯は、1本でも多く確保すべきと考えるところです。

尾鷲から奈良へつながる国道425号があります。改良率が非常に低く、未改良になっているところが多く見られます。防災の観点からも、道路改良を進めるべきと考えています。その必要について県当局の認識と今後の状況についてお聞かせください。

若尾将徳 県土整備部長の答弁

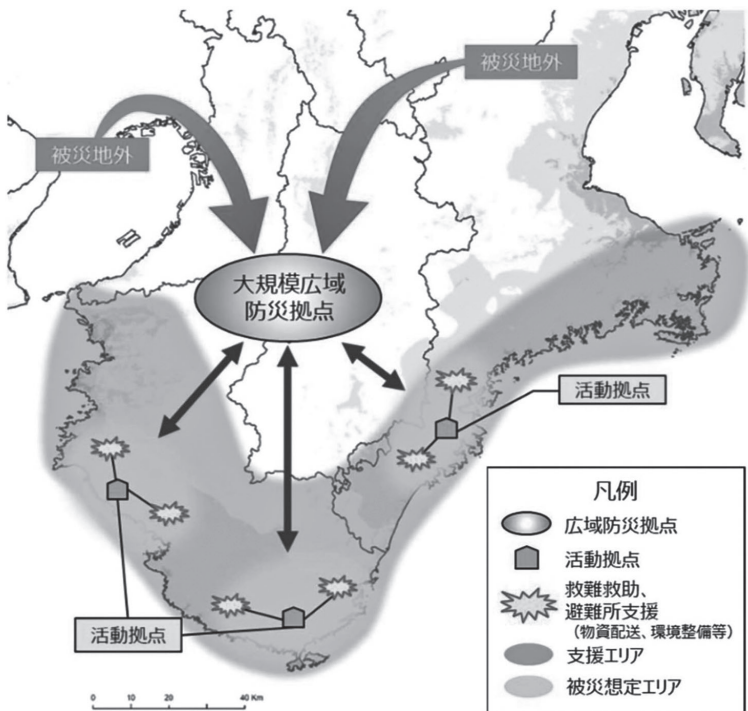
国道425号は、尾鷲市を起点として和歌山県御坊市に至る道路で、三重県内の改良率は19・7％で、三重県と奈

良県を連絡する国道の中では、改良率が最も低い状況であります。

国道425号の尾鷲北インターから奈良県境までの区間は、緊急輸送計画に指定されておりませんが、大規模災害発生時における多重性、代替性の確保の観点から、重要な道路であると認識しております。

そのため、災害への備えとして、落石のおそれのある道路のり面の対策を進めており、今年度3か所で災害防除施設工事を実施しております。

対策が必要な箇所は残り49か所ありますので、これらについて、今後、順次整備して、災害時も安全な道路の整備に努めてまいりたいと思っております。



紀伊半島が被災した場合の活動 出典：奈良県

三重県と奈良県を連絡する国道の整備状況

路線名	三重県内			県境市町村		緊急輸送道路指定状況	奈良県側改良率 W≧5.5m (平成31年3月31日)
	実延長	未改良延長 W<5.5m	改良率 W≧5.5m (令和3年4月1日現在)	奈良県側市町村	三重県側市町村		
25号	40.3km	10.7km	73.4%	山添村	伊賀市	第2次	-
165号	54.4km	0.0km	100%	宇陀市	名張市	第1次	100%
368号	68.6km	11.4km	83.4%	御杖村	津市	第2次	66.7% (369号 83.2%)
166号	65.1km	2.3km	96.4%	東吉野村	松阪市	第2次	89.7%
425号	18.9km	15.1km	19.7%	上北山村	尾鷲市	-	3.2%
169号	11.8km	4.0km	66.4%	下北山村	熊野市	第2次	96.5%
309号	9.6km	0.6km	93.5%	下北山村	熊野市	第2次	47.5%

【参考】 奈良県大規模広域防災拠点までのルート
【尾鷲市→奈良県大規模広域防災拠点 (国道169号経由)】
3時間2分 138km
尾鷲市役所→紀勢線(尾鷲北IC)→紀勢線(大泊IC)→42号→309号→169号→168号→奈良県大規模広域防災拠点
【尾鷲市→奈良県大規模広域防災拠点 (国道425号経由)】
3時間11分 125km
尾鷲市役所→425号→坂本ダム→池原ダム→169号→168号→奈良県大規模広域防災拠点
国道425号 尾鷲北IC～池原ダム区間 L=43.2km 1時間12分
【三重県庁→奈良県大規模広域防災拠点】
2時間14分 133km
三重県庁→伊勢自動車道(津IC)→名阪国道→西名阪自動車道→京奈和自動車道(五條IC)→168号→奈良県大規模広域防災拠点

東豊の質問

大規模防災拠点につながるくしの歯の1本になることをぜひ期待したいと思います。道路は林業とか観光とか、いろいろな形のも

のが見えてまいりますので、その辺も考慮しながら、早く

ります。道路改良を進めていただきたいと思います。

三重県南部地域で大きな津波被害が想定される南海トラフ地震においても、くしの歯作戦は非常に有効であると考えます。人命救助や緊急物資輸送の支援を迅速に受けるために、他県とつながる道路整備は重要です。防災、減災の観点から、県をまたぐ道路整

まず命を守って、その後どうやって復旧していくかというときに、道路は非常に重要な手段で、災害だけではなくて観光とか産業にとっても大事であります。

奈良の大規模広域防災拠点に向かう道というのは、北からいくと、国道25号、次は165号、368号、166号とあるわけでございます。南部からは、309号を通じて169号で向かうことができるわけです。425号ですとショートカットできるのは事実ですけど、まず安全性を確保せないかんということで、そこをやらせていただいているところです。

備について、知事のご所見を賜りたいと思います。

一見勝之知事の答弁



尾鷲市坂下隧道

安全確保でき、その上で利便性を確保していくということ、順を追ってやらせていただきたいと考えているところです。

東豊の質問

県がつくった気候変動に伴う海岸保全施設対策の5年後の達成目標で、国の気候変動を踏まえた海岸保全のあり方検討会の提言を踏まえた対策について、当局の認識と対応についてお聞きをします。

若尾将徳 県土整備部長の答弁

海岸保全施設については令和3年度から、5年後の達成目標を掲げて堤防の設置やかさ上げを進めております。

達成目標で定めた高潮対策については、令和2年度末において対策が必要な海岸約131キロメートルのうち73%が整備済みでありまして、令和7年度末まで5か年に5キロメートルの堤防を整備し、約80%まで高めること

気候変動に伴う

海岸保全施設対策について

流域

⑨ 海岸堤防等による高潮対策

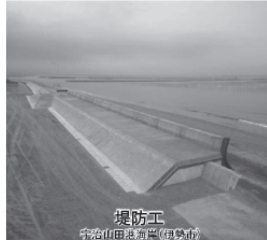
災害リスク



平成13年台風第11号（伊勢市）

高潮による浸水被害から防災拠点等が集積する地区や緊急輸送道路、鉄道等を守るため、伊勢湾台風が満潮時に到達した際の影響を想定し、堤防の設置や高さを上げる等の対策が必要な海岸が約131kmあります。

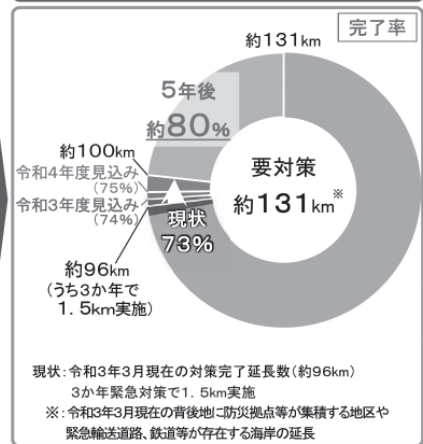
対策例



堤防工 宇治山田港（伊勢市）

- 堤防工：堤防の設置や高さを上げることで、高潮等による海水の侵入を防止
- 養浜工：人工的に土砂を供給し、減少した砂浜を回復させ、波の力を減衰
- 離岸堤工：沖合いに海岸線とほぼ平行に構造物を設け、波の力を減衰

5年後の達成目標



<主な実施箇所：令和4年度（令和3年度1月補正）>

- 城南第一地区海岸（桑名市）堤防工
- 南若松地区海岸（鈴鹿市）離岸堤工
- 宇治山田港海岸（伊勢市）堤防工、突堤工
- 井田地区海岸（紀宝町）人工リーフ工

としております。令和4年度末の状況ですが、長島港海岸など11海岸において対策を進めておりまして、その結果、目標の半分である約2・5キロの整備が終わる見込みであります。令和5年度から、平均海面

水位の上昇や台風の大化に伴う将来影響の推計を行う予定です。その上で、気候変動による外力の変化量や背後地の状況等を考慮した堤防等の高さの考え方を整理して、7年度までに計画を変更する予定であります。

漁獲高の増加に向けた取り組みの現状

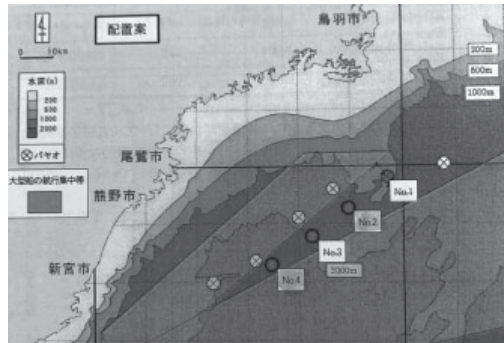
Current status of efforts to increase fish catches.

東豊の質問

漁船漁業は、資源管理による漁獲量の増加に向けてどのように取り組むのか。資源管理による漁獲高の増加に向けた取り組みの現状と見通しについてお尋ねいたします。

更屋英洋 農林水産部長の答弁

県では、これまで20魚種、沿岸魚種の漁獲量の44%を資源評価しており、令和4年度は、新たに3魚種の資源評価を進めています。今後、さら



浮魚礁設置位置



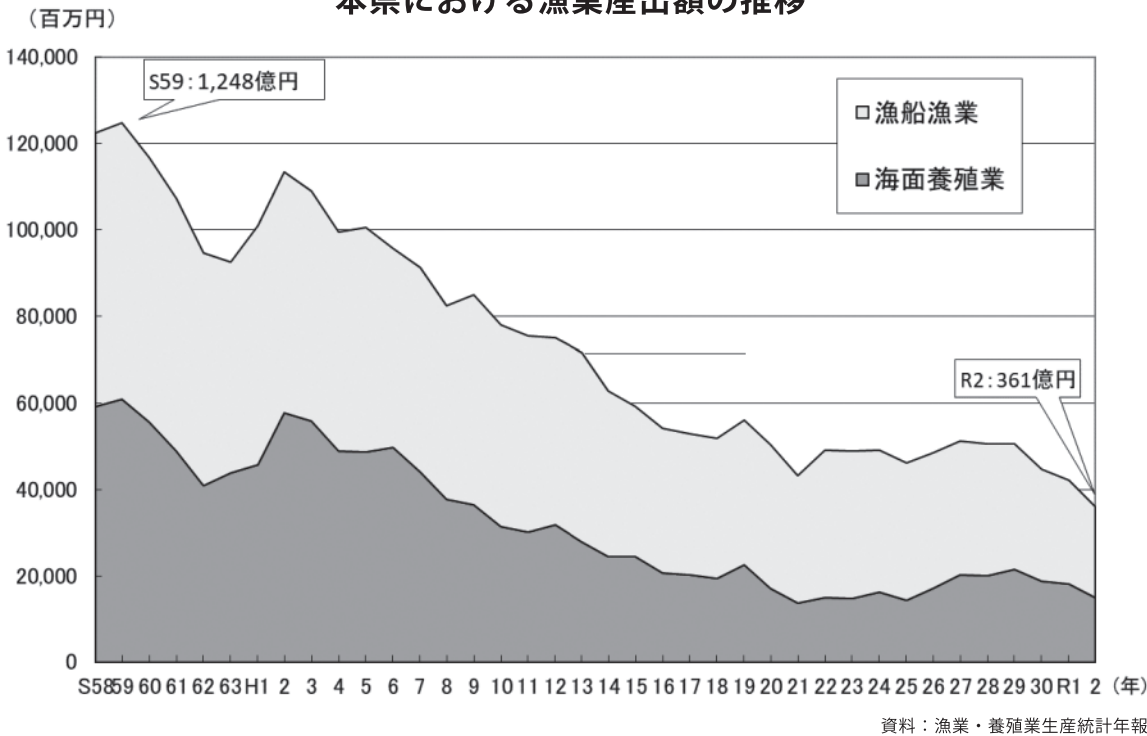
浮魚礁 No 4

に魚種を増加させ、令和10年までに70%を評価できるよう取り組みを進めたいと考えています。

東豊の質問

現在、熊野灘ではここ数年、浮魚礁周辺でカツオなどの漁獲量が増加しています。地元漁業者の話を聞きまして、漁船漁業の経営が厳しい中、浮魚礁は大変よい漁場となっていて、ぜひとも増やしてほしいとの声が多く寄せられたところであります。漁船漁業の産出額の増加や

本県における漁業産出額の推移

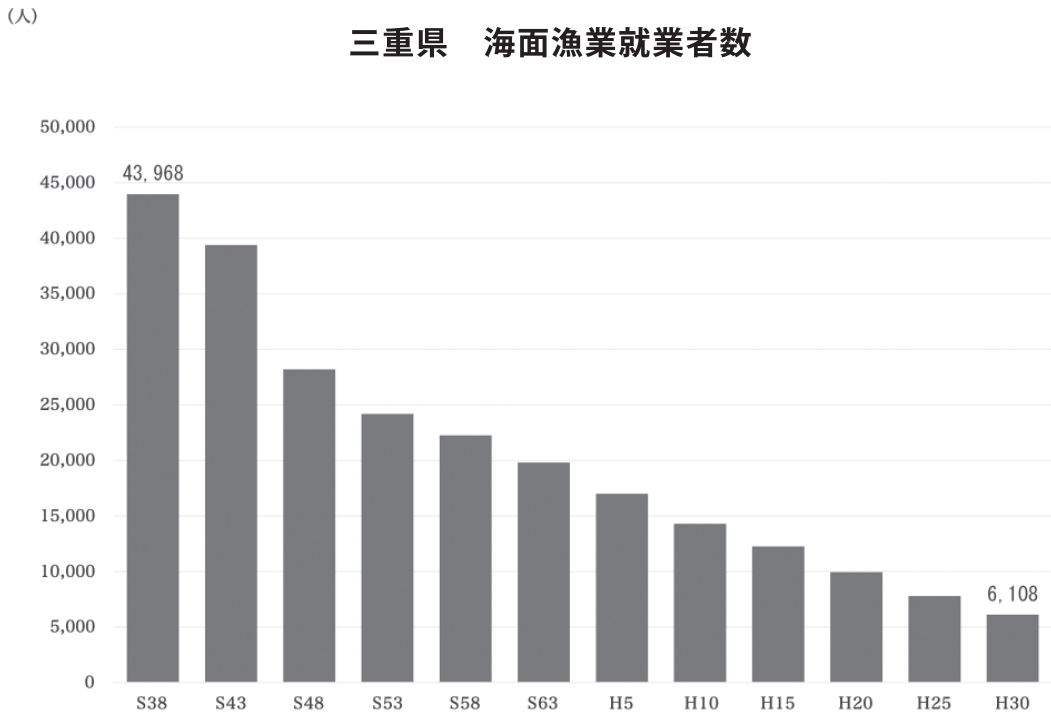


経営改善に向けて浮魚礁が有効と考えますが、今後、増設の計画があるのかをお尋ねします。

更屋英洋
農林水産部長の答弁

浮魚礁周辺における漁獲量は昨年度、過去最高の740トンとなり、今年度はさらに昨年度を上回る見込みとなっています。県としましては、漁船漁業の産出額の増加や経営改善に有効である浮魚礁の増設に向けて、国事業の活用も含めた検討を進めてまいります。

三重県 海面漁業就業者数



定置網漁業の担い手の確保について

東豊の質問

定置網漁業の担い手の確保についてもお聞きをしたいと思っています。

働き手の少ないのは事実であります。定置網漁業権の免許数も全体として減少です。

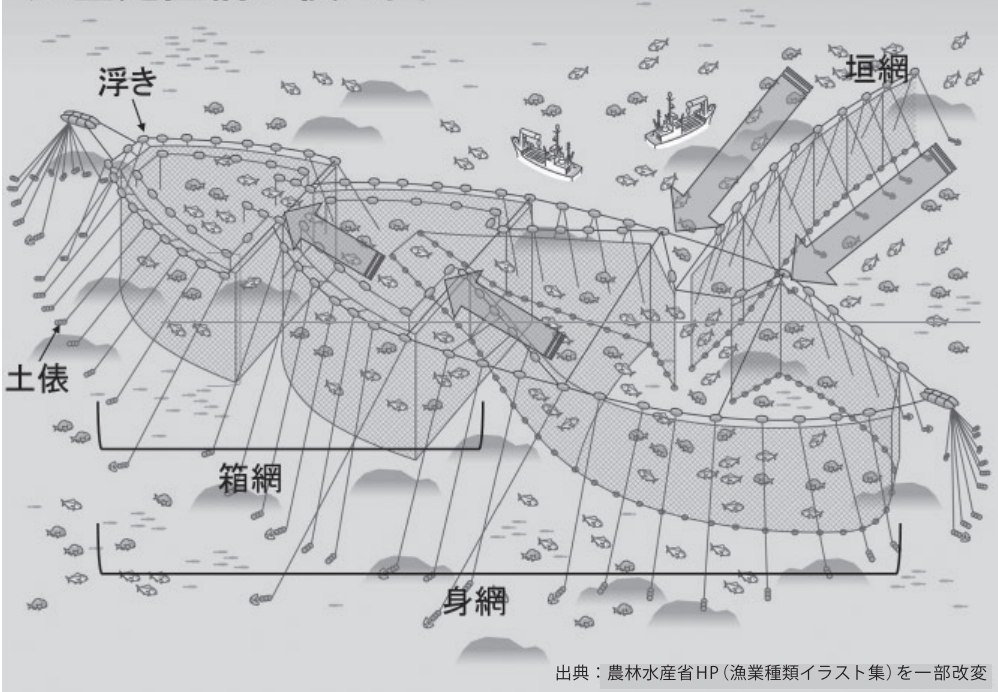
私の地元でも、定置網の数は減っています。その主な原因が担い手不足であります。

県では、担い手の確保に向けた様々な取り組みを行っていると思いますが、どのような認識でいらっしゃるのか。

更屋英洋
農林水産部長の答弁

県南部地域の重要な産業の一つであります定置網漁業における担い手の確保に向けては、県では、就業フェアでの漁業や就業支援策の紹介、漁協や漁業者グループが運営する漁師塾における研修支援、国の研修助成金制度の活用促進に取り組み、平成29年度から令和3年度までの5年間に、新たに44名の就業につながりました。

大型定置網の模式図



出典：農林水産省HP(漁業種類イラスト集)を一部改変

今年度は、担い手の確保をより一層進めるため、オンラインで県内の漁業や漁村の暮らしを学べるみえ漁師Sedgesの開設、経営体の労働条件の改善に向けた中小企業診断士や社会保険労務士による伴走支援に取り組んでいるところであります。

令和5年度は、さらに就業希望者が、漁業や漁村での生活に対する不安や疑問を直接漁業者に相談できる仕組みを構築したいと考えています。

魚類養殖業の

より一層の発展について

東豊の質問

本県の漁業産出額に占める養殖漁業の割合は増えていきます。特に、熊野灘海域では、全国一の生産量を誇るマハタをはじめマダイ、ブリ、クロマグロなどの魚類養殖が盛んに営まれています。さらに伸ばしていくためには、これまでの魚種に加えて新たな魚種の養殖が必要だと考えます。

もう一つは、世界は新興国を中心に経済成長、海外の日本食レストランの数も増え、魚食の健康志向など海外における水産物の需要が高まっている状況であります。

魚類養殖のさらなる発展のため、海外への販路拡大に向け、具体的にとのような取り組み、あるいは計画を持っているのかをお尋ねいたします。

更屋英洋

農林水産部長の答弁

魚類養殖業のより一層の発展を図るため、県では、養殖期間が早く出荷できる新たな魚種の導入に向けた技術開発を行っています。

令和4年度は、中食・外食



出典：おわせマハタ協議会

の需要が高いトラウトサーモンや身と肝が好まれるカワハギを対象に取り組んでおりまして、令和5年度からは新たに、生食での需要が見込まれる、寄生虫アニサキスがいまいマサバに取り組みたいと考えています。

輸出につきましては、国は本県の主要な養殖魚でありますマダイ、ブリを輸出重点品目を選ぶとともに、輸出に関する事業計画を策定した事業者の施設整備や販路拡大を支援しております。

一方、県は、国の制度を活用できるよう、県内事業者の輸出事業計画の策定を支援するとともに、販路拡大に向けて国、ジェトロと連携して、海外バイヤーとの商談機会を創出しているところです。

尾鷲市への大規模な 集成材工場の誘致計画

Plan to attract a large-scale laminated lumber factory to Owase City.

東豊の質問

現在、尾鷲市では、尾鷲港の中部電力跡地に大規模な集成材工場の誘致計画があります。

現在は、収益性の著しい低下で森林の荒廃が進み、森林所有者の意欲が喪失しています。木材生産の低迷など、極めて厳しい状況に置かれているという現実です。

また、一方では、近年では、多気町に大型合板工場が立地されたほか、県内に複数のバイオマス発電所が稼働するなど、木材需要は増加しているものの、林業の採算性を左右するような一番価値の高い建築用材の需要が伸び悩んでいる

東豊の質問

このような状況の中で、尾鷲市への大規模な集成材工場の誘致は、本県の森林・林業を考える上で大きなターニングポイントになると私は期待をしています。

仮にこの誘致が実現すれば、県産材の安定的な需要を確保し、素材生産量の増加、林業の活性化につながることを期待されます。雇用の創出や関連産業への波及効果など、東紀州地域の振興の観点からも大きな希望と期待を寄せているところです。

木造建築を増やすことによつて地球温暖化の防止にも役立ちます。まさに木材を使うことは、持続可能な開発目



高層純木造耐火建築物

標そのものだと思います。

極めて近い将来に、県庁舎の建て替えを検討するところと想像します。そのときに県産材を活用して、県内工場で生産されたCLT（直交集成板）構造で木質の県庁舎ができるのであれば、まさに夢のような話となると思います。

尾鷲のプロジェクトに関して、その検討状況をお聞かせいただきたいと思います。

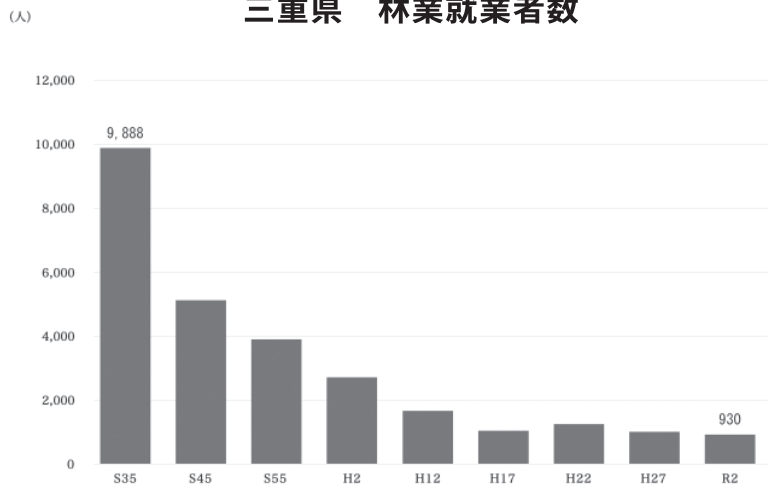
更屋英洋

農林水産部長の答弁

大規模集成材工場の誘致につきましては、昨年の10月に、尾鷲市や尾鷲港振興会の皆さんから県に対して御要望をいただきました。11月以降、関係事業者で構成する会議に県も参画し、これまでにない大規模な集成材工場の立地に向けた検討を進めています。

大規模な集成材工場を安定的に稼働させていくためには、材料となる原木の安定供給が必須であり、行政や林業関係者等と同じ目標を共有して、しっかりと協力体制を構

三重県 林業就業者数



築していくことが重要と考えています。

今後も引き続き、県も主体的に関与し、地元市町とも連携しながら、誘致の実現に向けて関係事業者との協議を進めてまいります。

東豊の要望

このプロジェクトが実現すれば、本県の林業振興、さらには東紀州地域の振興に大きく貢献すると考えます。県と尾鷲市、関係者が一致団結して取り組んでいくことを期待します。そして、知事の強いリーダーシップのもと、取り組んでいただくことを強く要望いたします。